

技術者に知って欲しい、 正しい「パテントマップ」の使い方【導入編】

第1章 特許情報とパテントマップとの関わり

1. はじめに：(1)～(3)
2. いま、何故パテントマップなの？
3. 情報解析は人間の知力とIT技術の融合で行われる
4. 氾濫する情報をいかに料理するか
5. 無色、無臭の情報に色を付け、味を付ける
6. 情報の種類には、どんなものがあるか
7. なぜ、特許情報なのか(1)～(3)
8. パテントマップの種類(例)

第2章 なぜ、パテントマップをつくる必要があるのか

1. パテントマップが果たす本来の役割
2. パテントマップとは、具体的にどんなもの
3. パテントマップを作る目的
4. 実際に役立つパテントマップとは、具体的に行動がとれるもの
5. パテントマップは魔法の杖ではない
6. パテントマップ作成の目的は、技術者の「情報感性」を鍛え、創造力の向上をめざす
7. 技術者の創造プロセスを整理する
8. パテントマップの功罪
9. パテントマップが読める人、読めない人(1)～(3)

第3章 なぜ、特許情報なのか

1. パテントマップを作る意味(1)(2)
2. 企業のR&D部門が抱えている問題、なぜパテントマップが求められるのか
3. パテントマップづくりの基本は目的意識を明確にする
4. パテントマップの種類
5. パテントマップは使う人の目的に合わせる
6. どう作るかは当事者、どう使うかはリーダーの役目

7. 研究開発における情報解析（調査研究）の意義
8. 研究開発と特許情報の関わり
9. 「デザイン・レビュー」と「パテント・レビュー」
10. 研究開発における情報の種類と流れ

第4章 パテントマップの作成目的は創造力を豊かにするためです

1. そもそも「マッピング技法」とは、どんなものなのか
2. では、パテントマップ作りに挑戦してみよう
3. パテントマップ作成の準備（1）
4. パテントマップ作成の準備（2）
5. 目的意識の明確化（情報解析のスタート）
6. 主題の骨格を決める
7. パテントマップに求められる8つの条件
8. 技術者が使えるパテントマップはマトリックス表
9. 創造パテントマップづくりの流れ（1）（2）

参考)創造技法

1. 創造のプロセスで異なる特許情報の使い方
2. 目的で異なる特許情報の読み方（1）（2）
3. コンセプトの生み出し方は、いろいろとある
4. 様々な視点から切り口を考える
5. 「ブレーン・ストーミング」（1）（2）
6. オズボーンのチェックリスト